



令和8年度当初予算(案)の概要

～ 主要事項編 ～

2026

令和8年度当初予算(案) 主要事項

事業数 94 事業 < 新規 24事業 ・ 充実 25事業 ・ 継続 45事業 >

(単位:千円)

<u>1)互いを認め合う、ふれあいのまちづくり</u>	所 管 課	予 算 額	ペ ージ
修学旅行における平和学習補助事業 《教育研究会等経費(小・中学校費)》	継続	学校教育課	14,730 1
ジェンダー平等及び性の多様性の尊重を実現するまちづくり事業 《男女共同参画推進経費》	継続	人権啓発課	8,332 1
ふるさと住民登録推進事業 《移住・定住促進経費》	新規	企画調整課	5,000 2
移住定住促進事業 《移住・定住促進経費》	継続	企画調整課 建築住宅課	37,619 2
次世代グローバル人材育成事業 《国際交流経費》	充実	秘書課	13,754 3
かめおか多文化共生センター運営事業 《多文化共生推進経費》	継続	秘書課	4,400 3
<u>2)安全で安心して暮らせるまちづくり</u>	所 管 課	予 算 額	ペ ージ
国際安全都市 セーフコミュニティかめおか安全・安心まちづくり推進事業 《セーフコミュニティ推進経費》	継続	自治防災課	2,125 4
消防団活性化事業 《消防団経費/消防施設整備事業費》	継続	自治防災課	104,408 4
(仮称)国際安全都市かめおか防災・安心安全フェスタ2026実施事業 《災害対策経費》	継続	自治防災課	1,700 5
地域防災リーダー育成事業 《災害対策経費》	継続	自治防災課	520 5
防犯カメラ・青色防犯パトロールによるまちの見守り促進事業 《防犯等対策経費》	充実	自治防災課	6,798 6
交通事故から生命を守る事業 《交通安全対策経費》	継続	自治防災課	3,838 6

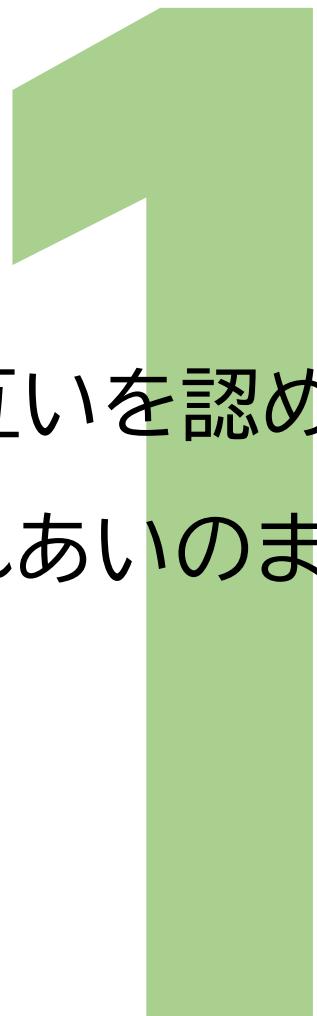
所管課	予算額	ページ
子育て支援課	337,195	7
保育課	174,231	7
保育課	70,275	8
保育課	8,886	8
こども家庭課	372	9
こども家庭課	440	9
保育課	135,413	10
社会教育課	482,832	10
資源循環推進課 高齢福祉課	4,405	11
高齢福祉課	1,800	11
高齢福祉課	11,698	12
障がい福祉課	1,444	12
障がい福祉課	5,400	13
地域福祉課	50	13
地域福祉課	3,900	14
健康増進課	3,483	14
健康増進課	463	15

所管課	予算額	ページ		
4)豊かな学びと文化を育むまちづくり				
かめおかっ子“イングリッシュスキル醸成”プロジェクト 《外国語指導助手設置経費/教育研究会等経費(中学校費)》	充実	学校教育課	71,631	16
公立小学校給食無償化事業 《給食センター管理経費》	新規	学校給食センター	256,822	16
学校給食センター整備運営モニタリング事業 《事務局事務経費》	新規	学校教育課	2,500	17
「体験育」推進プロジェクト ~「全国都市緑化フェア」児童体験事業～ 《事務局事務経費》	新規	学校教育課	4,800	17
多様な学びの場推進事業 《みらい教育リサーチセンター事業経費》	新規	みらい教育 リサーチセンター	8,722	18
外国にルーツを持つ子どもの支援関連経費 《事務局事務経費／学びを支える教育推進経費(小・中学校費)》	継続	学校教育課	10,464	18
学校図書館ネットワーク化経費 《事務局事務経費》	充実	学校教育課	8,155	19
よりよい教育環境をめざす学校施設整備の推進 《学校建設事業費(小・中学校費)》	充実	教育総務課	408,351	19
学校規模適正化事業(育親中学校ブロック) 《事務局事務経費/学校運営経費(小学校費)/学校建設事業費(小・中学校費)》	継続	教育総務課 学校教育課	323,807	20
ICT教育推進経費 《情報教育推進経費(小・中学校費)》	継続	みらい教育 リサーチセンター	209,007	20
まなびの機会サポート事業 《学びの多様化推進経費》	継続	学校教育課	3,600	21
スクールロイヤー事業 《いじめ防止対策経費》	継続	学校教育課	2,000	21
確かな学力育成補助事業 《教育研究会等経費(小・中学校費)》	継続	学校教育課	5,576	22
(仮称)キッズステーション整備事業 《図書館整備事業費》	充実	図書館	440,000	22
ガレリアかめおか長寿命化対策事業 《生涯学習推進経費》	充実	市民力推進課	421,756	23
京都サンガF.C.と育むシビックプライド醸成事業 《生涯スポーツ振興経費》	充実	生涯スポーツ課	9,398	23
まるごとスタジアム構想推進事業 《生涯スポーツ振興経費》	充実	生涯スポーツ課	8,915	24
eスポーツ大会「KAMEOKA CUP」 《生涯スポーツ振興経費》	継続	生涯スポーツ課	1,000	24
文化交流体験施設整備事業 《企画推進経費》	新規	企画調整課	23,064	25
保津川開削420周年記念展示事業 《文化資料館展示経費》	新規	文化芸術課	4,106	25
曾我部地区に伝わる歴史資料調査活用事業 《文化財保存事業》	新規	文化芸術課	2,000	26
「かめおか霧の芸術祭」関連事業 《文化振興経費》	継続	文化芸術課	20,000	26
亀岡ジャズフェスティバル事業 《文化振興経費》	継続	文化芸術課	3,000	27
亀岡吹奏楽フェスティバル事業 《文化振興経費》	継続	文化芸術課	2,500	27

<u>5) 地球にやさしい環境先進都市づくり</u>	所管課	予算額	ページ
清潔で快適なまちづくり推進事業 《環境保全対策経費》	継続	環境政策課	11,989 28
脱炭素社会の実現に向けた再生可能エネルギー導入推進事業 《環境にやさしいまちづくり推進経費》	継続	環境政策課	22,949 28
世界に誇れる環境先進都市推進事業 《環境先進都市推進事業経費》	充実	環境政策課	9,439 29
Circular Kameoka Lab事業 《環境プロモーションセンター事業推進経費》	充実	環境政策課	12,553 29
地域の新たなつながり創出事業～資源回収を入口に～ 《かめおか未来・エコロジックミュージアムプロジェクト推進事業経費》	新規	資源循環推進課	90,000 30
使用済み紙おむつ等資源循環加速化事業 《ごみ減量・資源化等推進事業経費》	充実	資源循環推進課	8,000 30
再商品化計画によるプラスチック類の資源循環推進事業 《ごみ減量・資源化等推進事業経費》	継続	資源循環推進課	37,129 31
「第43回全国都市緑化フェアin京都丹波」亀岡2拠点にぎわい創出事業 《公園緑地整備事業費》	充実	全国都市緑化フェア整備課	819,330 31
緑豊かな潤いのあるまちづくり事業～第43回全国都市緑化フェアin京都丹波～ 《緑花推進経費》	充実	全国都市緑化フェア推進課	324,459 32
全日本花いっぱい亀岡大会開催事業 《緑花推進経費》	新規	都市整備課	5,000 32
楽しく親しみのある公園整備事業 《公園緑地整備事業費/公園緑地整備事業費(単独)》	継続	都市整備課	46,400 33
「亀岡まるごとガーデン・ミュージアム」プロジェクト 《緑花推進経費》	継続	都市整備課	9,331 33
<u>6) 活力あるにぎわいのまちづくり</u>	所管課	予算額	ページ
地域商社「ONE かめおか」支援事業 《地域商社事業経費》	充実	企画調整課	50,000 34
湯の花温泉 新源泉開発事業 《鉱泉管理経費》	新規	商工観光課	4,000 34
有機農業推進事業 《有機農業推進事業経費》	充実	農林振興課	43,823 35
食農の魅力発信事業 《食農ブランド事業経費》	充実	農林振興課	7,296 35
地域担い手応援事業 《地域當農担い手条件整備事業経費》	継続	農林振興課	10,000 36
亀岡牛ブランド振興事業 《畜産振興関係経費》	継続	農林振興課	24,930 36
豊かな森づくり事業 《林業担い手育成事業経費/森林活用推進事業経費》	充実	農林振興課	31,080 37

7)快適な生活を支えるまちづくり		所管課	予算額	ページ
安全・安心で快適な道づくり事業 《道路新設改良事業費/街路事業費》	継続	都市整備課 桂川・道路交通課 土木管理課	852,842	38
夜間の交通空白解消支援事業 《バス交通関連経費》	新規	桂川・道路交通課	1,800	38
バスの魅力再発見！ノーマイカーDay事業他 《バス交通関連経費》	充実	桂川・道路交通課	176,626	39
自然災害からみんなを守る河川災害等防止対策事業 《河川維持経費/河川改良事業費》	継続	土木管理課	475,000	39
「犬と暮らしやすいまち亀岡」を推進する事業 《動物管理指導経費》	充実	環境政策課	9,555	40
すすきの景観保全と獣害対策～未来につなぐ野焼き試験～ 《桂川高水敷土地利用経費》	新規	桂川・道路交通課	680	40
安全なわが家の耐震化促進事業 《安全なわが家の耐震化促進事業費》	充実	建築住宅課	17,241	41
亀岡市シティプロモーション事業 《広報経費》	充実	広報プロモーション課	59,000	41
8)効率的で持続可能な行財政運営		所管課	予算額	ページ
かめおか未来・エコロジックミュージアムプロジェクト推進事業 《企画推進経費》	新規	企画調整課	8,140	42
議会活動経費 《議会活動経費》	継続	議会事務局	23,364	42
DX推進事業 《電算管理経費/情報化推進経費》	継続	情報政策課	7,699	43
証明書コンビニ交付システム機能導入・拡充事業 《戸籍住民基本台帳経費/市税賦課事務経費》	充実	市民課 税務課	11,619	43
マイナンバーカード交付等推進事業 《戸籍住民基本台帳経費》	継続	市民課	42,167	44
ふるさと納税推進事業 《ふるさと力向上経費》	継続	ふるさと納税課	5,248,881	44
公営住宅不良債権回収事業 《住宅管理経費》	新規	建築住宅課	3,000	45

<u>特別会計</u>	所管課	予算額	ページ
国民健康保険事業(特別会計)	継続 保険医療課	8,857,000	46
休日診療事業(特別会計)	継続 健康増進課	29,600	46
介護保険事業(特別会計)	継続 高齢福祉課	7,766,000	47
後期高齢者医療事業(特別会計)	継続 保険医療課	1,885,300	47
水道事業(特別会計)	継続 上下水道部各課	3,361,800	48
下水道事業(特別会計)	継続 上下水道部各課	5,761,700	48
市立病院事業(特別会計)	継続 市立病院	4,118,000	49



互いを認め合う、
ふれあいのまちづくり

継 続

子どもファースト宣言!!

予算額 14,730千円

(前年度予算額 15,540千円)

修学旅行における平和学習補助事業

«教育研究会等経費(小・中学校費)»



「世界連邦・非核平和都市」を宣言している本市の小・中学生が、修学旅行の中でも平和と人権尊重について考える機会を創造し、将来においても、それらを希求する行動をとる心を醸成することを目的として、児童(小学生)は広島で、生徒(中学生)は沖縄で実施する平和学習に伴う経費の一部を補助する。

- 修学旅行における平和学習補助金
(児童・生徒一人あたり10,000円補助)



学校教育課 TEL0771-25-6786

継 続

ジェンダー平等及び性の多様性の尊重を実現するまちづくり事業

予算額 8,332千円

(前年度予算額 8,777千円)

«男女共同参画推進経費»



すべての人の人権が尊重され、その個性や能力を十分に發揮できるまち、誰もが安心して暮らせるまちづくりを進めため、ジェンダー平等及び性の多様性への理解を広め、誰もが自分らしく生きることができる社会の実現を進める。

- 男女共同参画講座の実施
- 「男女共同参画推進事業(人権・平和 市民フォーラム)」の開催
- 男女共同参画情報紙「ゆう・あいネット」の発行
- 女性の相談室(一般相談・法律相談・フェミニストカウンセリング)の開設
- パートナーシップ宣誓制度の実施
- LGBTQ+コミュニティスペース等啓発事業の開催
- 生理の貧困対策としての生理用ナプキンの無料配布

LGBTQ+啓発事業シンボルマーク



人権啓発課 TEL0771-25-5075

新規

ふるさと住民登録推進事業

予算額 5,000千円

《移住・定住促進経費》



移住に至らないものの、本市と関わりを持つ「関係人口」を可視化し、絆を深めるため、国の制度開始に先駆け、令和8年度から本格的に「ふるさと住民登録」に取り組む。

登録者にはニーズに合わせた情報提供を行い、特産品の購入や地域行事への参加を促進する。本市のファンを増やすことで、将来的な地域経済の活性化と、地域の担い手確保に繋げる。

- 登録者への情報配信
- 登録特典の提供(イベントへの招待など)
- 「住民登録」を増やすためのプロモーション



企画調整課 TEL0771-25-5006

継続

移住定住促進事業

予算額 37,619千円

(前年度予算額 42,076千円)



《移住・定住促進経費》

平成12年以降続く緩やかな人口減少に歯止めをかけ、地域の活力を維持するために、本市への移住希望者の伴走支援、移住定住サイトや各種移住フェア等を通じた情報発信、空き家・空き地バンクのさらなる活用等に取り組む。

- 移住定住促進サイトを活用した情報発信
- 移住フェアやセミナー等への出展
- 企業誘致・起業者移住に係る情報発信
- 空き家・空き地バンク制度を通じた空き家利活用の促進
- 移住・定住促進施設「離れ」にのうみ運営



企画調整課 TEL0771-25-5006
建築住宅課 TEL0771-56-8520

充 実

次世代グローバル人材育成事業

子どもファースト宣言!!

予算額 13,754千円

(前年度予算額 3,452千円)

《国際交流経費》



姉妹都市等、海外の交流都市との間で中学生・義務教育学校生の相互派遣を行う。学校交流やホームステイなどを通じて異文化理解を深め国際的な視野を身に付けることで、国際的に活躍できる人材育成を進めるとともに、さらなる国際親善を図る。また令和8年度は新たにフィリピン共和国へ中学生・義務教育学校生を派遣し、現地中学校にて短期英語研修を実施する。

●スタディアブロードプログラム<相互派遣>

派遣：スタイルウォーター市(アメリカ合衆国)

受入：クニッテルフェルト市(オーストリア共和国)

宜蘭県(台湾)

●短期英語研修

派遣：シスターズ・オブ・メアリースクール

(フィリピン共和国)



令和7年度 台湾・宜蘭県とのスタディアブロードプログラム(派遣)の様子

秘書課 TEL0771-25-5083

継 続

かめおか多文化共生センター運営事業

予算額 4,400千円

(前年度予算額 4,400千円)



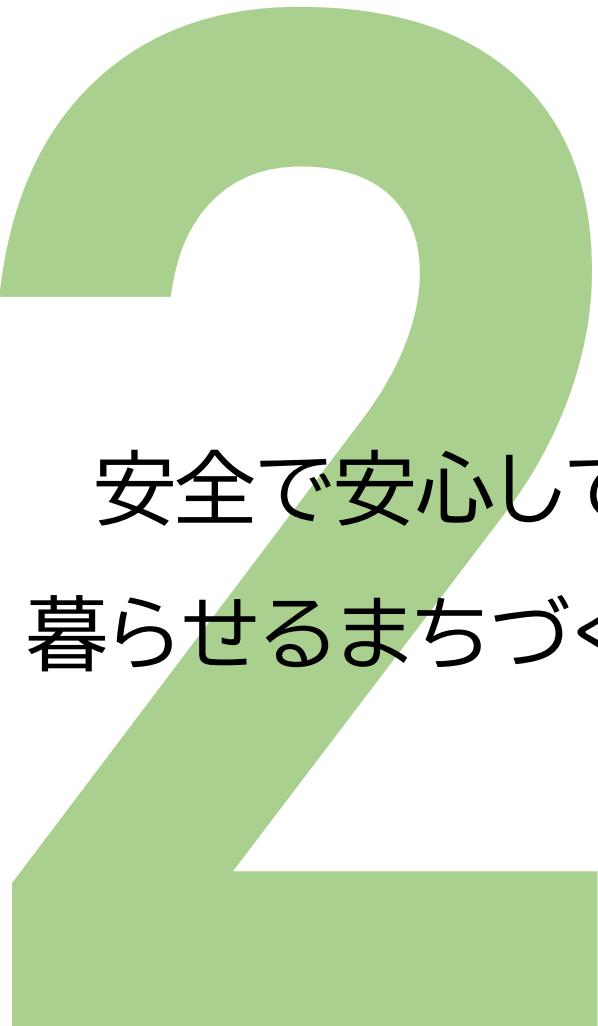
《多文化共生推進経費》

外国人住民が増加する中、外国人住民も地域社会の一員として共に活躍するとともに、多様性を活かしながら誰もが安心して暮らせる多文化共生のまちづくりを進める。

- 令和2年11月、ガレリアかめおか3階に開設した外国人住民等の多言語相談窓口「かめおか多文化共生センター Kameoka Foreign Resident Support」において、多言語での生活相談や情報提供を行い、必要に応じて適切な関係機関への取次ぎを行う。



秘書課 TEL0771-25-5083



安全で安心して
暮らせるまちづくり

継続

国際安全都市 セーフコミュニティかめおか 安全・安心まちづくり推進事業

予算額 2,125千円

(前年度予算額 8,205千円)

《セーフコミュニティ推進事業経費》



日本初のセーフコミュニティ認証都市として2008年に認証取得し、2013年再認証、2018年に再々認証、2023年に国内初となる国内認証を取得し、17年以上にわたり、安全安心なまちづくりを進めている。令和7年1月には、青森県十和田市、大阪府松原市と「国際安全都市」宣言、8月に「第1回国際安全都市アジア市民大会」を開催した。今後もセーフコミュニティを市民にわかりやすく伝えることで、その取り組みがさらに広がるよう努める。

- セーフコミュニティ推進協議会の開催
本市のセーフコミュニティの推進における意思決定機関
- サービランス委員会の開催
セーフコミュニティ活動の検証効果や課題設定など外傷データ等に基づいて検討し、対策委員会や推進協議会に提案・報告を行う
- 7つの対策委員会の開催
「スポーツの安全」「自殺予防」「高齢者の安全」「乳幼児の安全」「交通安全」「防犯」「防災」の分野で課題に対し対策を講じる
- 国内及び国際的なセーフコミュニティネットワークの積極的な参加
豊島区セーフコミュニティ事前指導への参加
都留市セーフコミュニティ現地審査、認証式への参加



自治防災課 Tel0771-55-9560

継続

消防団活性化事業

予算額 104,408千円

(前年度予算額 164,806千円)

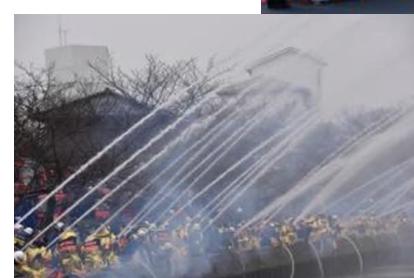
《消防団経費/消防施設整備事業費》



地域の防災活動に従事する亀岡市消防団活動の運営を健全なものとし、消防団員の入団の促進及び団員数の確保をすることで地域防災力の向上を図り、亀岡市民の安全安心の確保を目指す。

また、消防団活動を行うために必要な消防団車両及び消防用資機材等の整備充実を行うことで、本市における防火・防災体制の強化を図る。

- 消防団員報酬の増額
- 小型動力ポンプの更新(4台)
- 小型動力ポンプ積載車の増強(2台)



自治防災課 Tel0771-22-0119

継続

(仮称)国際安全都市かめおか 防災・安全安心フェスタ2026実施事業



予算額 1,700千円
(前回予算額 2,000千円)

«災害対策経費»

各地域の自主防災組織や防災協定締結先の企業等の関係機関を交えた住民参加型の防災イベントを実施する。防災関係車両の展示や防災啓発ブースに加えて、野外ステージを活用した住民参加型のイベントにすることで、若年層を含めた幅広い年齢層に向けた防災啓発を図る。

◇日 時：令和8年9月下旬(予定)

◇場 所：亀岡運動公園一帯

◇事業内容(予定)：

- ・市民参加型の防災啓発イベント
- ・災害協定締結先企業、団体等による防災体験、展示ブース
- ・災害緊急車両等展示



(2024年リーフレット)

自治防災課 Tel0771-25-5097

継続

地域防災リーダー育成事業

予算額 520千円

(前年度予算額 1,000千円)

«災害対策経費»

本事業では、防災に関するプロフェッショナルの認定資格である防災士を養成し、各地域における防災リーダーの育成や主体的な取組みを促進することで、更なる地域防災力の強化を図る。また、資格取得後のスキルアップや防災士相互の親睦を図るために、かめおか防災士ネットワークを設立し、研修や訓練を行っている。若年層への防災啓発としては、こども防災士養成事業を実施し、次世代を担う若年層が防災に関する知識や体験を身につける機会を提供している。

◇亀岡市防災士養成講座



過去3年の受講者数

R5 49名 R6 64名 R7 49名

市主催の防災士養成講座を実施し、取得に係る負担軽減を図ることで、意欲のある市民の資格取得を促進する。



◇かめおか防災士ネットワーク



会員数132名(令和8年1月時点)

市内在住・在勤の防災士が、研修や訓練などを通じて、防災士の知識や技能の向上を図り、連携して地域の訓練等に協力できる体制を構築する。



◇こども防災士養成事業

過去3年の受講者数

R5 22名 R6 29名 R7 23名

次世代の防災リーダーを育成するため、小学生を対象に、楽しく防災に関する学習や体験をする機会を提供する。



自治防災課 Tel0771-25-5097

防犯カメラ・青色防犯パトロールによる まちの見守り促進事業

予算額6,798千円
(前年度予算額 5,115千円)

«防犯等対策経費»

亀岡市、亀岡警察署、地域が連携して防犯カメラの設置促進事業及び青色防犯パトロールを通じて、犯罪抑止効果を高め、事件・事故の早期発見、また子どもの見守りや高齢化社会の進行に伴う行方不明者の捜索など防犯対策の強化を図り、市民の体感治安の向上に努める。

- 夜間帯にも車両ナンバーが読み取り可能な高性能防犯カメラを適切に管理運用することで犯罪の抑止効果を高め、事件・事故の早期解決、子どもの見守り、また、高齢化社会の進行に伴い、増加傾向にある認知症による行方不明者の捜索などにつなげる。
- 自治会が行う地域防犯活動の一環として防犯カメラや増設用防犯カメラを設置する経費の一部を補助金として交付する。
- 「まちの見守り協定」「まち・レコ」プロジェクトを通じて「ドライブレコーダー」を「動く防犯カメラ」として活用し、まちの見守り体制を強化する。
- 青色防犯パトロール従事者が、持続可能な防犯活動ができるよう新たに補助金を交付する。【新規】



自治防災課 Tel0771-55-9560

継続

交通事故から生命を守る事業

予算額 3,838千円
(前年度予算額 3,725千円)

«交通安全対策経費»

<自転車用ヘルメット購入費補助事業>

自転車利用者のヘルメット着用を促進し、自転車に係る交通事故による被害軽減を図るために、ヘルメットの購入費用の一部を補助する。

- ・補助金額 購入費用の2分の1(上限5,000円)
- ・件 数 約200件

<高齢者運転免許証自主返納支援事業>

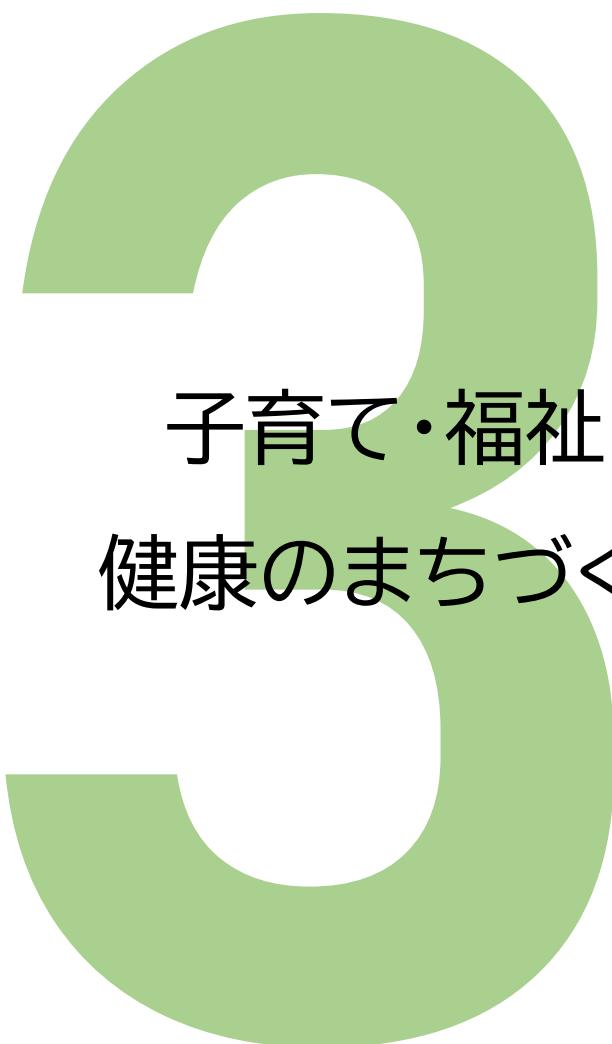
運転に不安を感じる高齢者(70歳以上)に自動的に運転免許証の返納を促す支援制度を行う。

【支援内容】

- ・市交通ICカード(ICOCAカード) 5,000円分
- ・市内タクシー事業者(京都タクシー(株))の乗車カード5,000円分



自治防災課 Tel0771-25-6788



子育て・福祉・
健康のまちづくり

こども医療費助成事業～所得制限なし～

《こども医療費助成経費》



健やかに子どもを産み育てる子育て支援策の一環として、子どもの医療費を助成することにより、子どもの健康の保持と増進を図るとともに、保護者などの経済的負担の軽減を図る。

- 令和5年9月診療分から、こども医療費の助成対象年齢を出生から18歳(18歳に達する日以後最初の3月31日)までに拡大し、入院・通院にかかる医療費(公的医療保険の自己負担額)を無償化している。
- 就労や婚姻していても対象となる。(所得制限なし)

0歳から18歳(18歳に達する日以後最初の3月31日)	
入院	自己負担額 0円
通院	自己負担額 0円

子育て支援課 Tel0771-25-5027

子どもたちの明るい未来応援事業 ～第2子以降保育料無償化・おむつの提供処理無償化～

予算額 174,231千円
(前年度予算額 145,450千円)
※予算額は歳出の増と歳入の減の合計額



第2子以降保育料無償化助成事業

《公立保育所等管理運営経費／子ども・子育て支援給付経費／公立保育所等施設運営経費》

おむつ無償化事業

《保育所運営事務経費／施設運営補助経費／公立保育所等施設運営経費》

保護者の子育てに係る負担と保育士等の作業負担を軽減することで、次代を担う子どもを安心して産み育てることが出来る環境を整備するとともに、教育・保育の質の向上を図る。

○第2子以降保育料無償化事業

保育所(園)、認定こども園、小規模保育事業所、企業主導型保育施設及び幼稚園に通う亀岡市在住の第2子以降の保育料を所得制限及びきょうだいの年齢制限なく無償化する。



○おむつ無償化事業

登園時の紙おむつの持参と使用済み紙おむつの持ち帰りをなくすことによる保護者の負担軽減や衛生面の向上などの観点から、保育所(園)、認定こども園、小規模保育事業所、企業主導型保育施設及び幼稚園で使用する紙おむつの提供及び処分を無償化するとともに、環境への負担に配慮する観点から、布おむつを使用する園に対して布おむつのリース料を助成する。



保育課 Tel0771-25-5028

待機児童解消にむけた 「幼保連携型認定こども園」開設支援事業

予算額 70,275千円

《施設振興補助経費》

低年齢児の待機児童対策として、千代川幼稚園の幼保連携型認定こども園への移行予定に伴う必要な施設整備について、国の交付金を活用して支援する。

本事業の実施により、0～2歳児の受け入れ児童数を拡充し、待機児童の解消を目指す。

<事業概要>

- 交付金名:就学前教育・保育施設整備交付金
(国1/2・市1/4・事業者1/4)
- 整備内容:調理室や乳児用保育室、トイレ等の整備
- 開設時期:令和9年4月1日予定
- 幼保連携型認定こども園…幼稚園的機能・保育所的機能の
両方のニーズに応える施設



保育課 Tel0771-25-5028

乳児等通園支援事業(こども誰でも通園制度)

予算額 8,886千円

《子ども・子育て支援給付経費／公立保育所等施設運営経費》



全てのこどもたちの育ちを応援し、子育て家庭に対する支援を強化するため、保育施設等に通園していないこどもを対象に、保護者の就労の有無にかかわらず、時間単位で保育所(園)・認定こども園等を利用できる事業を実施する。

- ◆0歳6か月～満3歳未満までの未就園児を対象
- ◆月10時間までの利用を上限とした通園支援

実施施設:公立・私立保育施設等

(具体的な実施施設名は亀岡市において認可・確認後公表)

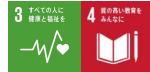
こども誰でも 通園制度

保育課 Tel0771-25-5028

5歳児健康診査事業

予算額 372千円

《母子保健事業経費》



子どもの特性を早期に発見し、特性に合わせた適切な支援を行うとともに、生活習慣や育児に関する指導を行い、幼児の健康の保持・増進を図り、スムーズな就学を目指す。

5歳児健康診査を実施することにより、出産後から就学前までの切れ目のない健康診査を実施できる。

- 対象 実施年度に満5歳になる幼児
- 実施方法 二段階方式

二段階目

問診票を基に、保健師や心理士が保育所等を巡回し、スクリーニングを実施

二段階目

発達などに課題があると考えられた幼児を医師が診察

事後支援

関係機関と連携を図り、特性に応じた支援につなぐ



こども家庭課 TEL0771-24-5016

電子版母子健康手帳導入事業

予算額 440千円

《母子保健事業経費》



電子版母子健康手帳の導入により、スマートフォンでの健診受診・健診結果の確認やプッシュ型支援、手続きの改善等を実現し、市民の利便性の向上や必要な支援へのつなぎ、自治体・医療機関の事務負担の軽減、母子保健情報の利活用を目指す。

《導入内容》

電子版母子健康手帳基本機能の導入

(成長記録、予防接種スケジュール、地域情報発信)



こども家庭課 TEL0771-24-5016

継 続

子どもたちの豊かな心とからだを育む 保育事業

《公立保育所等施設運営経費》

公立保育所・こども園における児童の安全を確保するとともに、亀岡型自然保育の実施や有機米・有機野菜を用いた給食を提供するなど、質の高い保育・教育を実施し、児童の豊かな心とからだを育む。

- 公立保育所・認定こども園の運営
- 納入金の改修
- 有機米・有機野菜を用いたかめまる給食の提供
- 亀岡型自然保育の推進
(森の自然こども園東本梅・本梅こども園・山の自然こども園別院
・保津こども園)



子どもファースト宣言

予算額 135,413千円

(前年度予算額 153,613千円)

保育課 Tel0771-25-5028

継 続

子どもファースト宣言

かめおか児童クラブ事業

《かめおか児童クラブ運営経費》

令和5年4月から、放課後児童健全育成事業は、「かめおか児童クラブ」として、開設時間の延長や休日保育の実施など制度の拡充を図っている。保護者が就労等で不在の間も、適切な環境の中で、子どもたちが安心して過ごせる場を提供し、児童の健全育成と子育て環境の向上を図り、「子育てに優しいまち」を目指す。

- 1家庭2人目以降の負担金無償化～所得制限なし～
- 平日午後7時までの開設
- 土・日・祝日の開設
- 一時利用の実施
- 児童クラブ運営に係る人材確保及び人材育成
- かめおか児童クラブの環境整備 等



子どもファースト宣言

予算額 482,832千円

(前年度予算額 481,627千円)

社会教育課 Tel0771-25-5199

新規

ふれあい収集・高齢者支援モデル事業

予算額 4,405千円

《塵芥収集運搬経費》

《介護予防・日常生活支援総合事業経費(介護保険事業特別会計)》



〈ふれあい収集事業〉

高齢化などの理由により、集積場にごみを出すことが困難な方々を支援するため、個別訪問し、ごみを処分場まで運ぶ。

【対象】親族などの協力が得られず、ごみを排出することが困難であると認められる、75歳以上且つ、要支援1以上の認定を受けている方



〈多様な実施主体による高齢者支援モデル事業〉

高齢者の介護予防や地域での支え合いの機運醸成を促進するため、住民団体等が事業主体となる生活支援活動に対し補助する。

【ふれあい収集事業】資源循環推進課 TEL0771-55-5305

【多様な実施主体による高齢者支援モデル事業】

高齢福祉課 TEL0771-25-5032

新規

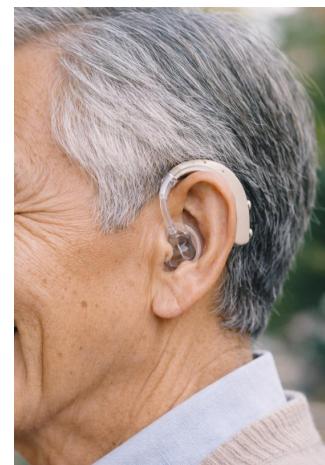
高齢者補聴器購入費助成事業

予算額 1,800千円

《高齢者生活支援経費》



中等度の難聴がある高齢者の社会的孤立や認知機能低下などを防ぐとともに、積極的な社会参加や地域交流を促すため、補聴器購入に要する費用の一部を助成する。(補助率:1/2 上限額:2万円/人)



高齢福祉課 TEL0771-25-5032

継 続

いきいき健幸ポイント制度

予算額 11,698千円
(前年度予算額 11,176千円)

«保険者機能強化推進事業経費/重層的支援体制整備事業経費»



高齢者が地域サロンの運営補助等のボランティアを行った時に、活動に応じてポイントを付与する「いきいき健幸ポイント制度」を実施する。

これにより、高齢者の社会参加や地域貢献を通じた生きがいづくりを促進し、健康寿命を延ばすとともに、住み慣れた地域での生活の質向上を目指す。



高齢福祉課 TEL0771-25-5127

新 規

障がい福祉分野における人材確保事業

予算額 1,444千円

«障がい福祉推進事業経費»



障がい福祉を担う人材の確保に取り組み、「量」と「質」の両面から障がい福祉サービスが安定的に提供される体制整備を図る。

- 相談支援従事者研修助成事業

相談支援従事者を確保し、相談支援体制の整備を図るために、相談支援従事者初任者研修及び現任研修の受講に係る費用の一部(補助率1/2)を補助する。

- 外国人材雇用支援事業

障がい福祉サービスの安定的な提供に資するため、外国人介護人材を雇用した法人に対して、介護人材の雇用が円滑に行われるよう初期費用の一部を助成する。(上限250千円/人)

障がい福祉課 TEL0771-25-5189

新規

在宅知的障がい者 紙おむつ給付事業

予算額 5,400千円

«地域生活支援事業経費»



障がいのある方が、自立して日常生活を営むことを容易にするため、日常生活用具を給付する。

- 知的障がい者の中には、排泄の管理が難しく、紙おむつ等が必要品となっている人がいる。このため、療育手帳Aを所持し、常時紙おむつ等を必要としている方に給付することで、自立した生活と社会参加の促進を図る。



障がい福祉課 Tel 0771-25-5189

新規

福祉有償運送支援事業

予算額 50千円

«社会福祉事務経費»



単独では、タクシーなどの公共交通機関を利用できない身体障がい者、要介護者などを対象に、ドア・ツー・ドアの送迎を行う福祉有償運送について、慢性的な運転手不足を解消するため、車両運転者および運行管理責任者に対する法定講習の受講費用等に支援を行う。

- 講習費用や講習会場までの交通費を補助



地域福祉課 Tel 0771-25-5073

充 実

よりそい・つなぐ 「ひきこもりサポート事業」

«社会的孤立防止対策事業経費»

予算額 3,900千円
(前年度予算額 2,800千円)



ひきこもり支援体制を構築し、ひきこもり状態にある本人や家族等を支援することにより、ひきこもり状態にある本人の社会参加を促すことで、本人及び家族等の福祉の増進を図る。

- 相談支援の充実
- 居場所の充実
- 家族教室の開催
- 支援体制の充実



地域福祉課 Tel 0771-25-5029

充 実

歯と口腔の健康事業～歯科口腔保健の推進～

予算額 3,483千円
(前年度予算額 2,091千円)

«保健事業経費/高齢者保健・介護予防事業経費/
介護予防・日常生活支援総合事業経費(介護保険事業特別会計)»



歯と口腔の健康は、全身疾患とも深くかかわり、
介護予防や健康寿命の延伸につながっている。

歯科口腔保健の専門職である歯科衛生士の配置
により、胎児期(妊娠)、乳幼児期、少年期、青・壮年
期、高齢期までの生涯を通じた歯と口腔の健康づ
くりを推進し、人生100年時代の健康長寿をめざ
す。

- 歯科衛生士(会計年度任用職員)の配置
- 歯と口腔の健康づくり事業の実施(講座や相談、啓発事業等)



健康増進課 Tel 0771-25-5004

継 続

子宮頸がん検診24歳・28歳無料クーポン券事業

予算額 463千円
(前年度予算額 403千円)

«保健事業経費»



子宮頸がんは、20歳代から増加しはじめ、30～40歳代が罹患のピークとなる若年者に多い疾患である。早期に発見すれば治癒が可能であり、現在、国の補助事業として20歳の女性を対象に無料クーポン券を配布している。しかし、20歳代のがん検診受診率が低いため、罹患のピーク到達年齢までに継続受診の定着を図ることを目的に令和7年度から実施している。

対 象 者 : 亀岡市に住民登録があり、令和8年4月1日時点の年齢が24歳
及び28歳の女性(20歳の無料クーポン券配布は継続)

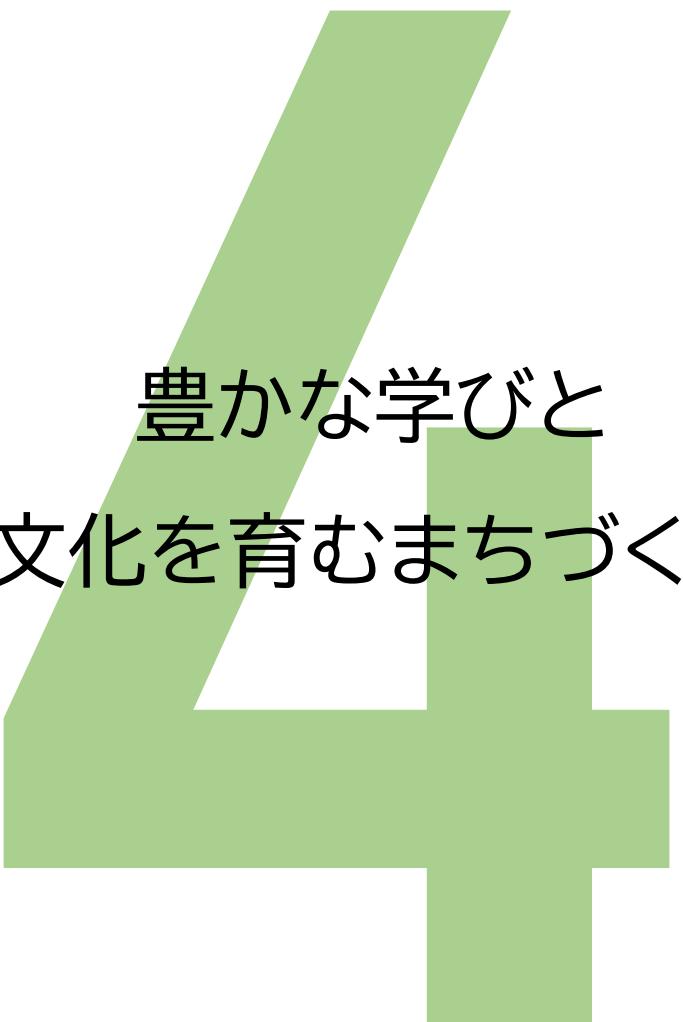
実 施 方 法 : 個別医療機関または検診車による集団検診
問診及び細胞診

広げよう！
ティールアンドホワイトの輪

あなたと、あなたの
大切な人の明日のために
検診を受けましょう！



健康増進課 TEL0771-25-5004



豊かな学びと
文化を育むまちづくり

充 実

子どもファースト宣言!!

かめおかっ子“イングリッシュスキル醸成”プロジェクト

予算額 71,631千円

(前年度予算額 20,697千円)

『外国語指導助手設置経費/教育研究会等経費(中学校費)』



児童生徒の英語力を向上させるため、学校教育の場面で、授業など教育活動全般において、英語を用いたコミュニケーションを行う機会を増やすことが大切であると考え、ALT(外国語指導助手)の常駐、配置時間の増加を行い、より英語と触れ合い慣れ親しむ環境の充実を図る。

- 市内義務教育学校に各3名、市内中学校に各1名のALTが常駐【新規】
- 市内小学校へ4名のALTをシフト制で配置【充実】
- 英語検定チャレンジ事業
市内中学校に在籍する全生徒及び市内義務教育学校に在籍する7年生～9年生に対し、実用英語技能検定の受験をサポート



学校教育課 TEL0771-25-5053

新 規

子どもファースト宣言!!

公立小学校給食無償化事業

予算額 256,822千円

『給食センター管理経費』



小学校給食に係る保護者負担の軽減を通じた子育て支援を充実させるため、小学校給食を全額無償で提供する。

- 4月から公立小学校の給食費を無償化するため、国・府から交付金が措置される。国・府交付金の措置を超える分は、市が公費で負担し(令和8年度については、物価高騰対応重点支援地方創生臨時交付金を活用)、子育て世代を支援する。



学校給食センター TEL0771-24-3833

学校給食センター整備運営モニタリング事業 予算額 2,500千円

《事務局事務経費》

令和8年度に設計・施工・維持管理・運営一括発注方式(DBO方式)により発注する亀岡市学校給食センター整備運営事業等の導入に際し、民間事業者に維持管理・運営業務も併せて委託を行う。

民間事業者の業務が市の要求水準書等を満たして適切に履行されているかを確認するため、専門業者によるモニタリングを実施し、適正な管理体制の元、早期の事業推進を図る。



- 学校給食センター整備事業の実施スケジュール(予定)
 - ・施設の設計、建設期間:令和8年9月～令和10年10月
 - ・開業準備期間:令和10年11月～令和10年12月
 - ・給食センター運営開始:令和11年1月



学校教育課 TEL0771-25-6786

「体験育」推進プロジェクト ～「全国都市緑化フェア」児童体験事業～

予算額 4,800千円

《事務局事務経費》

みどりがもたらす快適で豊かな暮らしがあるまちづくりを進めるため、全国各地で開催されている「花と緑の祭典」が京都丹波で開催されることに際し、市内の小学校及び義務教育学校(前期課程)の児童が、教室での学びにとどまらず、自然体験、社会体験、文化体験などの「体験活動」を通じて、学び、成長する「体験育」を実践し、児童の五感や人間性、自ら考え行動する力を育む。

また、児童が今住んでいる日本の原風景ともいえる緑豊かな自然という恵まれた環境と文化的価値を再発見する機会を創造する。



- 開催時期:令和8年9月18日～11月8日
- 会 場:京都・亀岡保津川公園、亀岡運動公園

学校教育課 TEL0771-25-6786

多様な学びの場推進事業

予算額 8,722千円

《みらい教育リサーチセンター事業経費》



不登校の増加に伴い、家が居場所で、学びにつながりにくい、また、学びにつながっていない児童生徒が増加している。

学校に行きにくい児童生徒の心の居場所として開設している「やまびこ・ふれ愛教室」を、交通アクセスの良い街中で新たに開設することで、公共交通機関を利用し、体調や気持ちに合わせて自分のタイミングで登室しやすい環境を整える。

また、家が居場所で、学びにつながっていない児童生徒の居場所として、メタバース(仮想空間)を活用したオンラインの学びの場の有効性について実証事業を実施し、多様な学びの場の確保を図る。

- やまびこ・ふれ愛教室の街中開設
- メタバース(仮想空間)実証事業



みらい教育リサーチセンター
TEL0771-26-3916

継続

外国にルーツを持つ子どもの支援関連経費

予算額 10,464千円
(前年度予算額 10,319千円)

《事務局事務経費／学びを支える教育推進経費(小・中学校費)》



外国にルーツを持つ子どもの就学が増加傾向にあり、教科学習言語に特化した日本語教育支援体制の充実が必要となることから、日本語指導を総括し、サマースクール等企画実施する外国人児童生徒教育コーディネーター等を配置する。

併せて学校生活の支援を行う外国人児童生徒教育支援員についても支援言語の多様化等に対応するため配置する。

- 外国人児童生徒コーディネーターの配置
- 「夏休みグローバルスクール」の実施
- 外国人生徒教育支援員の配置(小・中・義務教育学校)



充 実

学校図書館ネットワーク化経費

子どもファースト宣言!!

予算額 8,155千円

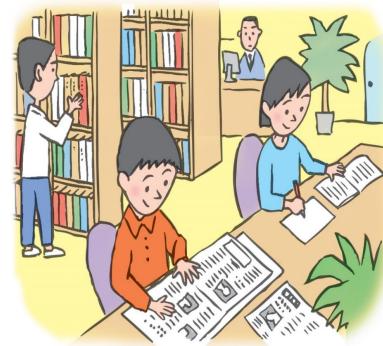
(前年度予算額 2,100千円)

«事務局事務経費»

子どもの読書活動は、言葉を学び、感性を磨き、表現力を高め、創造力を豊かなものにし、人生をより深く生きる力を身に付けていく上で欠くことのできないものである。

令和7年度は、全学校の図書館にアクセスポイントを設置した。令和8年度は、蔵書管理のデジタル化を図り、子どもが、自主的に読書活動を行うことができる環境を整備する。

- 手入力で行っていた図書の貸し出しをバーコードで管理することで、利便性を高め、利用促進につなげる。



学校教育課 Tel 0771-25-6786

充 実

よりよい教育環境をめざす 学校施設整備の推進

予算額 408,351千円

(前年度予算額 43,966千円)

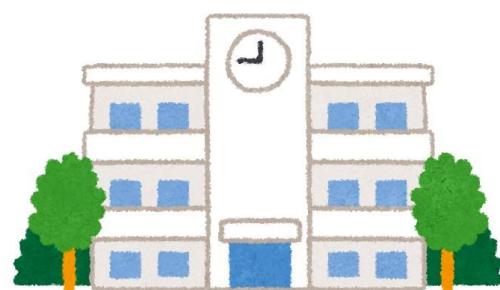
«学校建設事業費(小・中学校費)»



市立学校施設において、長寿命化計画に基づき、長寿命化改修工事実施設計等を推進し、児童生徒にとって安全安心でよりよい教育環境の整備を図る。

【設計業務委託】

- 東輝中学校校舎長寿命化改修実施設計業務委託
- 中学校屋内運動場空調整備工事設計業務委託
- 小・中学校LED化設置工事実施設計業務委託



【工事請負】

- 中学校給食配膳室増築工事(東輝・大成・詳徳中学校)
- 大成中学校グラウンド防球ネット設置工事

教育総務課 Tel 0771-25-6766

継 続

子どもファースト宣言!!

学校規模適正化事業(育親中学校ブロック)

予算額 323,807千円
(前年度予算額 2,698,475千円)

«事務局事務経費/学校運営経費(小学校費)/
学校建設事業費(小・中学校費)»



亀岡市学校規模適正化基本方針による取組として、令和6年4月に開校した「亀岡市立育親学園」について、令和9年度に供用予定の新校舎建設を引き続き進め、新たな学習環境の整備を図るとともに、これまで保護者、地域住民、学校関係者、教育委員会が一体となって取り組んできた内容に基づき、児童生徒の持続的かつ安定的な教育の推進を実現し、より良い教育環境を創出する。

- 令和9年度に供用予定の新校舎建設に係る施設整備 «Ⅲ期»
- 旧学校施設での校外授業を補助する会計年度任用職員の任用
- 児童生徒や保護者のためのスクールカウンセラーの配置



郷親創育

教育総務課 TEL0771-25-5052
学校教育課 TEL0771-25-5053

継 続

子どもファースト宣言!!

ICT教育推進経費

予算額 209,007千円
(前年度予算額 165,476千円)



«情報教育推進経費(小・中学校費)»

日常的にICT機器を活用する中で、児童生徒が学習に対して興味・関心を持ち、自ら学ぼうとする意欲を高め、多様な児童生徒の力を引き出す授業の推進を図る。

また、タブレット端末の更新、インターネット機器の保守・整備を行う。

- GIGAスクール構想のもと整備した、タブレット端末、ネットワーク機器の維持管理業務
- インターネット接続回線使用料
- ICT支援員業務委託
- 授業支援ソフト「ロイロノート」使用料
- タブレット端末購入費(小学1年生・中学1年生分)



みらい教育リサーチセンター
TEL0771-26-3916

継 続

子どもファースト宣言!!

まなびの機会サポート事業

予算額 3,600千円
(前年度予算額 3,600千円)

《学びの多様化推進経費》



学校に行きにくい児童生徒の学びの機会を確保するとともに、社会的自立を支援するため、指導要録上、出席扱いとすることを認めたフリースクールを利用するにあたり、保護者が負担する授業料を補助する。

- 月10,000円を上限に補助(所得制限なし)
- フリースクールの授業料が対象



学校教育課 TEL0771-25-5053

継 続

子どもファースト宣言!!

スクールロイヤー事業

予算額 2,000千円
(前年度予算額 2,000千円)



《いじめ防止対策経費》

SNSの普及など、子どもたちを取り巻く環境の変化により、いじめ問題や不登校児童生徒の増加など、様々な問題が複雑化している。このような学校における問題の早期解決や相談体制を強化するため、法律の専門家(弁護士)によるスクールロイヤー制度を実施する。

- ねらい
 - 子どもの最善の利益を守る
 - 問題事象の早期解決と未然予防
 - 保護者との良好な連携強化
 - 法的見地をもった学校の対応力強化
 - 教職員・保護者等のメンタルケア、安心感向上
- 実施する内容
 - 法に照らし合わせた対応相談
 - いじめ事象等対応研修



学校教育課 TEL0771-25-6786

継 続

子どもファースト宣言!!

予算額 5,576千円

(前年度予算額 5,533千円)

確かな学力育成補助事業

«教育研究会等経費(小・中学校費)»



児童生徒の確かな学力を育成するため、9年間の学力調査結果を紐づけし、系統たてた、一人ひとりの「個別最適な学び」を推進するため、亀岡市確かな学力育成会議(小学校長会長・中学校長会長等で構成)が独自に実施する学力調査(確かな学力育成パスポート)にかかる費用に対して、保護者負担相当分を補助する。

- 確かな学力育成補助金



学校教育課 TEL0771-25-6786

充 実

子どもファースト宣言!!

予算額 440,000千円

(前年度予算額 20,000千円)

(仮称)キッズステーション整備事業

«図書館整備事業費»



「子どもに優しいまち」の取り組み事業の一環として、開館から25年以上が経過した「亀岡市立図書館ガレリア分館」を「(仮称)キッズステーション」にリニューアルを行う。

令和6年度には基本設計、令和7年度には実施設計を進め、親子を中心に多くの人々が快適に長時間滞在できる「学びと憩いの施設」として生まれ変わり、豊かな学びと遊びの場を提供する。



図書館 TEL0771-55-5667

充 実

ガレリアかめおか長寿命化対策事業

予算額 421,756千円

(前年度予算額 147,057千円)

«生涯学習推進経費»

生涯学習活動の拠点施設であるガレリアかめおかの長寿命化を図り、安全・安心な学習活動の場の提供を行うことにより、生涯学習のまちづくりを推進する。



- ガレリアかめおか長寿命化改修工事

- 中央監視装置更新業務
- 照明制御装置更新業務
- 受変電設備改修業務

など

工期:令和9年3月までの予定



市民力推進課 Tel0771-25-5002

充 実

京都サンガF.C.と育む シビックプライド醸成事業

予算額 9,398千円

(前年度予算額 8,176千円)

«生涯スポーツ振興経費»

昨シーズンはリーグ戦で3位と躍進し、今シーズンはチームで初めて本市出身のJリーガーが誕生するなど、2026シーズンも「J1」での活躍に期待が高まる京都サンガF.C.とともに、ホームスタジアムのあるまちとして、まちの活性化を目指し、市民の「わがまち」へのシビックプライドの醸成を図る。



- サンガ応援交流事業補助金
各自治会が実施する観戦事業に補助
- わがまちサンガ応援隊活動
LINE配信、壮行会の開催、
応援のぼり・おもてなし看板作成 等
- ホームタウンデーの実施 等



生涯スポーツ課 Tel0771-25-5055

充 実



まるごとスタジアム構想推進事業

予算額 8,915千円
(前年度予算額 3,000千円)

《生涯スポーツ振興経費》

「かめおかまるごとスタジアム構想」に基づき、本市の豊かな自然を最大限に活かし、「スポーツ」という求心力・発信力のあるキーワードをひとつの柱として、スポーツを「する」活動をはじめ、「みる」「支える」「応援する」も含めたものとして捉え、競技力の向上はもとより、心身の健康づくりや人々の交流と賑わい創出、幸せあふれるわがまち亀岡の創造を目指す。

- 京都・亀岡バルーンフェスティバル【継続】
4月4日～6日
- 熱気球体験搭乗事業【新規】
9月～10月
- かめおかダンスフェスティバル【継続】
10月18日(予定)
- パラグライダー競技大会【新規】
10月24日・25日(予定)



生涯スポーツ課 TEL0771-25-5055

継 続

eスポーツ大会「KAMEOKA CUP」

予算額 1,000千円
(前年度予算額 1,000千円)

《生涯スポーツ振興経費》

サンガスタジアム by KYOCERA内にあるeスポーツゾーンを活用し、世代や性別を超えた新しいコミュニティの創出とeスポーツ文化の醸成に取り組むとともに、配信により亀岡の魅力を発信する。

- 9月開催(予定)
- YouTubeでLIVE・アーカイブ配信
ゲストによる実況解説
配信内広告による市のPR
- パブリックビューイング実施
- eスポーツ体験会の実施



生涯スポーツ課 TEL0771-25-5055

新規

文化交流体験施設整備事業

予算額 23,064千円

《企画推進経費》



海外や市内外の方を対象に、国際交流や日本文化体験による文化交流発信・関係人口の創出を目指すための施設整備を行う。

文化芸術をはじめとする様々な文化体験、地域との交流により、本施設を核としたまちのにぎわいと地域の魅力を創出する。



- 文化交流体験施設整備に係る実施設計他

【文化交流体験施設】

毘沙門荘(千歳町毘沙門)

企画調整課 TEL0771-25-5006

新規



保津川開削420周年記念展示事業

予算額 4,106千円

《文化資料館展示経費》



保津川開削420周年を記念し、開削に携わった角倉了以・素庵親子の偉業を顕彰するため、特別展「角倉了以・素庵展(仮)」を開催する。

また、関連企画としてシンポジウム「角倉了以・素庵と保津川開削(仮)」を開催する。保津川開削や角倉家を研究する講師を招き、展示会と合わせて了以を顕彰する機会とする。

- 第42回特別展「角倉了以・素庵展(仮)」の開催
- シンポジウム「角倉了以・素庵と保津川開削(仮)」開催
- ワークショップ「保津地域に生きる角倉の文化」開催



「保津川図屏風」(摸本) 東京国立博物館研究情報アーカイブズより

文化芸術課文化資料館 TEL0771-22-0599

新規

曾我部地区に伝わる歴史資料調査活用事業

予算額 2,000千円

《文化財保存事業》



穴太寺をはじめとする曾我部地域の寺社に伝来する古文書・歴史資料(2,000点以上)は、これまでほとんど詳細調査がされていない。

本事業では、穴太寺を中心に小幡神社や金剛寺(一部は鹿王院に所蔵される)等に残る歴史資料を一体的に調査・公開し、曾我部郷の歴史を明らかにする。



文化芸術課(文化資料館) TEL0771-22-0599

継続

「かめおか霧の芸術祭」関連事業

予算額 20,000千円

(前年度予算額 21,000千円)

《文化振興経費》



亀岡ゆかりの芸術家をはじめ、アートを媒介に繋がる多くの人々とともに、「かめおか霧の芸術祭」をプラットフォームに、令和8年秋に開催する「全国都市緑化フェアin京都丹波」と連携して、文化の薫るまちづくりを推進する。

- 亀岡ゆかりの芸術家による展覧会「城跡芸術展」や出展作家によるワークショップ等を開催し、市民が文化芸術に触れる機会を創出する。
- かめおか霧の芸術祭の拠点「KIRICAFE」やSDGs推進拠点「開かれたアトリエ」などを活用し、年間を通じて展覧会やワークショップなど多彩な企画を実施する。
- 「全国都市緑化フェアin京都丹波」を契機に、アートの力を活かしてにぎわい創出、関係人口の増加を図る。



みどりのテーブル 第4回「竹に触れてつくろう」

文化芸術課 TEL0771-55-9655

継 続



亀岡ジャズフェスティバル事業

《文化振興経費》

予算額 3,000千円
(前年度予算額 3,000千円)



トップアーティストの音楽に触れる機会や、地域のアーティストが音楽を発表する機会としてジャズフェスティバルを開催し、音楽を通じた文化力の向上及びまちの活性化を図る。

- かめきたサンガ広場を主会場とする中で、「全国都市緑化フェアin京都丹波」関連事業として、京都・亀岡保津川公園も会場に開催する。



文化芸術課 TEL0771-55-9655

継 続



亀岡吹奏楽フェスティバル事業

《文化振興経費》

予算額 2,500千円
(前年度予算額 2,800千円)

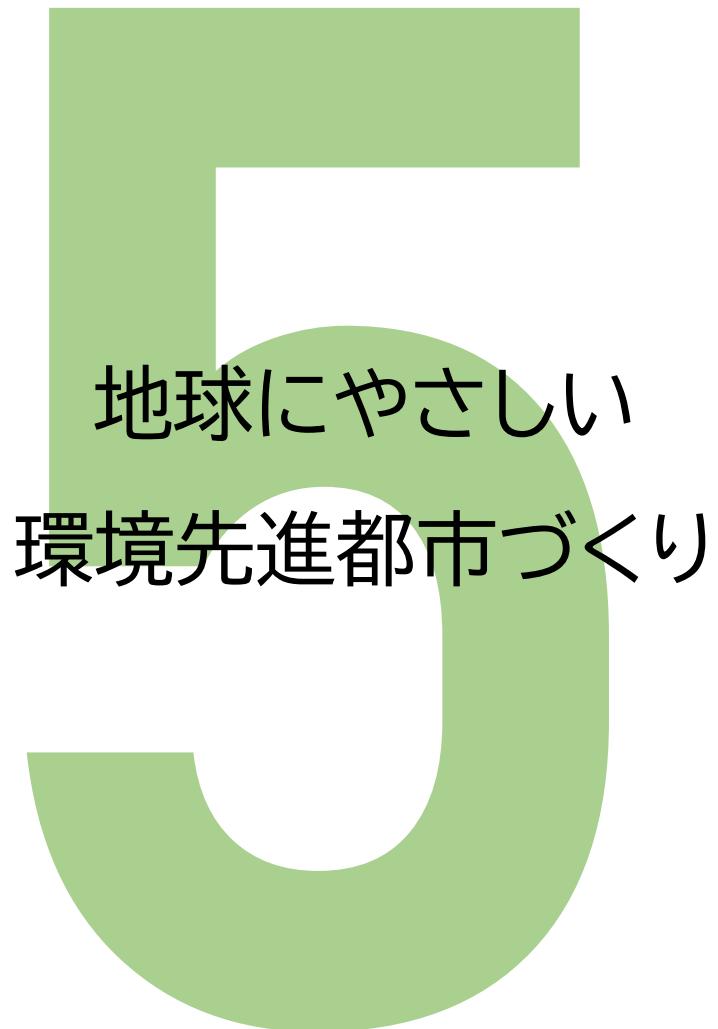


吹奏楽に取り組む市民がともに発表する場を創出することで、音楽を通じた文化力の向上及びまちの活性化に繋げる。

- 「全国都市緑化フェアin京都丹波」関連事業として、亀岡運動公園を会場に開催する。



文化芸術課 TEL0771-55-9655



地球にやさしい
環境先進都市づくり

継 続

清潔で快適なまちづくり推進事業

予算額 11,989千円

(前年度予算額 11,341千円)

《環境保全対策経費》



ポイ捨て等のない清潔で快適なまちづくりを進めるとともに、公害のない良好な生活環境を守り、美しい自然環境を次代につないでいく。

- 亀岡市ポイ捨て等禁止条例に基づく事業経費
(ポイ捨て禁止指導員報酬・手当)
- 喫煙ブースの維持管理に係る経費
(保険、機器点検、清掃、電気代)
- エコウォーカー活動に係る経費
(エコウォーカーへの報償品費、ボランティア保険料)
- 河川水質検査及び自動車騒音測定業務委託料



環境政策課 Tel 0771-25-5024

継 続

脱炭素社会の実現に向けた 再生可能エネルギー導入推進事業

予算額 22,949千円

(前年度予算額 30,790千円)

《環境にやさしいまちづくり推進経費》



「かめおか脱炭素宣言」による2050年カーボンニュートラルを目指すため、市域における再生可能エネルギーの導入促進区域の運用を図る。

また、家庭における太陽光発電設備等の設置を増やし、再生可能エネルギーの普及促進につなげる。

- 亀岡市環境審議会開催
- 亀岡市環境基本計画推進会議開催
- 温対法に基づく再エネ促進区域更新業務【新規】
- 亀岡市家庭向け自立型再生可能エネルギー導入事業助成【充実】



環境政策課 Tel 0771-25-5023

充 実

世界に誇れる環境先進都市推進事業

《環境先進都市推進事業経費》

かめおかプラスチックごみゼロ宣言の目標達成に向けて、積極的な環境施策の展開による持続可能なエコシステムの創出と、地域ブランドの確立を目指し、地域経済の活性化と市民の郷土愛(シビックプライド)の醸成に繋げることで、将来にわたって安心して暮らせる持続可能なまちづくりの実現を目指す。

- プラスチック製レジ袋の提供禁止に関する条例の運用
- 「(仮称)かめおか環境デー」の実施【新規】
- 「環境共生ドーム展示」の実施【新規】
- 保津川エコツアーオの実施
- 環境先進都市に向けた取組の啓発事業(リバーフレンドリー・レストラン、給水スポットの普及拡大、啓発冊子の作成等)
- リユース食器利用促進補助金



予算額 9,439千円
(前年度予算額 5,453千円)



環境政策課 TEL0771-25-5023
0771-25-5024
0771-21-9340

充 実

Circular Kameoka Lab事業

予算額 12,553千円
(前年度予算額 9,348千円)

《環境プロモーションセンター事業推進経費》



亀岡市環境プロモーションセンター(愛称: Circular Kameoka Lab)において、市が取り組む環境政策の情報発信事業や、次世代を担う子どもたちなどへの体験事業を通じ、人々がつどい、交流を深め、繋がることができる、「世界に誇れる環境先進都市・亀岡市」を実現するための環境拠点施設としての機能を發揮していく。

- 環境プロモーションセンター運営管理経費
- かめおか自然アカデミー・Circular Kameoka Lab事業経費
- めぐるひろばプロジェクト実施経費
- 「めぐるひろばプロジェクト」連動企画実施経費【新規】
- 交換する本棚「いおり文庫」実施経費
- 環境紙芝居「あゆまるくん海へ行く」上演経費【新規】



環境政策課 TEL0771-21-9340

新規

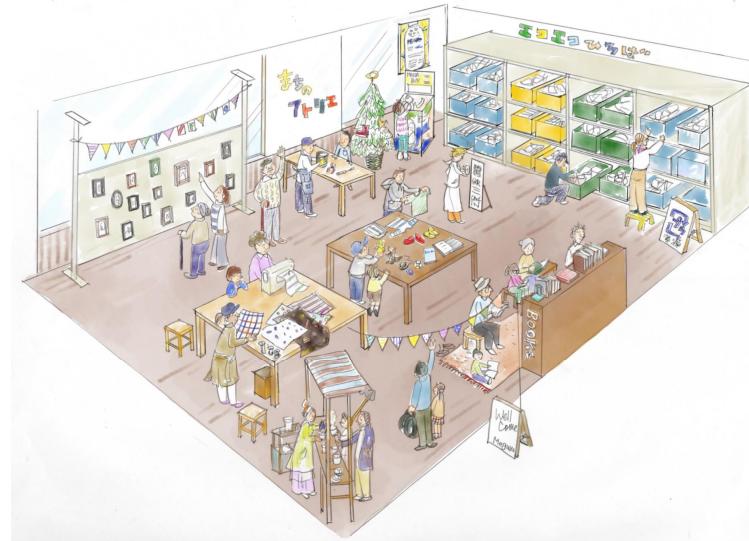
地域の新たなつながり創出事業 ～資源回収を入口に～

予算額 90,000千円

《かめおか未来・エコロジックミュージアムプロジェクト
推進事業経費》



「環境先進都市・亀岡市」のさらに先、2050年の未来ビジョンが目指す「環境再生、互助共助、地域内経済循環を基盤にした取組が調和し、多様な市民が活躍し、持続可能な少し先の未来が生まれ続けるまち」を実現するため、資源回収を入口として、地域の人々が集う新しい交流拠点を整備する。



資源循環推進課 TEL0771-55-5305

充実

使用済み紙おむつ等資源循環加速化事業

予算額 8,000千円

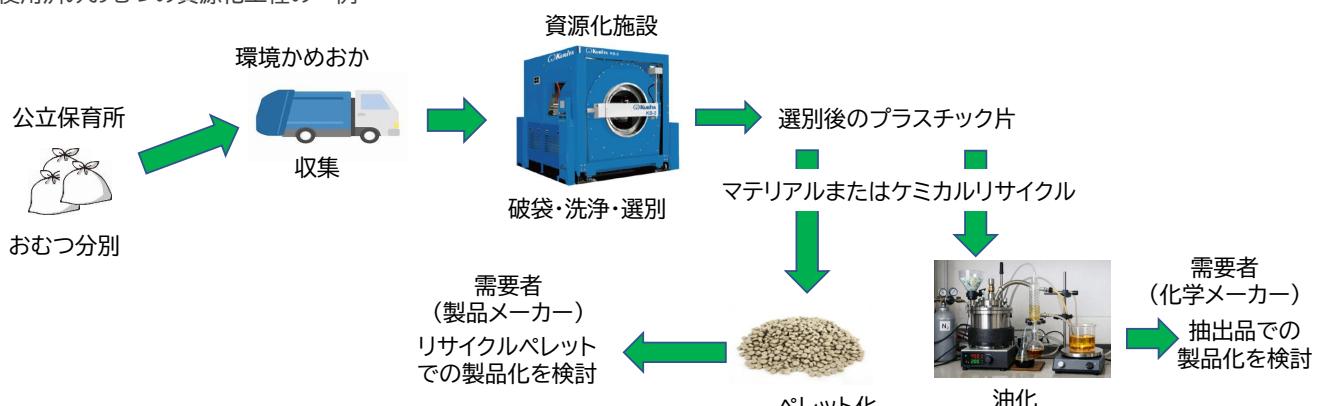
(前年度予算額 6,105千円)

《ごみ減量・資源化等推進事業経費》



令和6年6月から実施している「使用済み紙おむつ資源化実証事業」において得た知見を基に、プラスチック資源の持続的な資源化手法を確立するため、公立保育所等で発生又は排出する使用済み紙おむつを用いた資源化に係る実証実験に継続して取り組み、高齢化社会に対応した資源循環スキームの構築を図る。

使用済みおむつの資源化工程の一例



資源循環推進課 TEL0771-55-5305

継 続

再商品化計画によるプラスチック類の資源循環推進事業

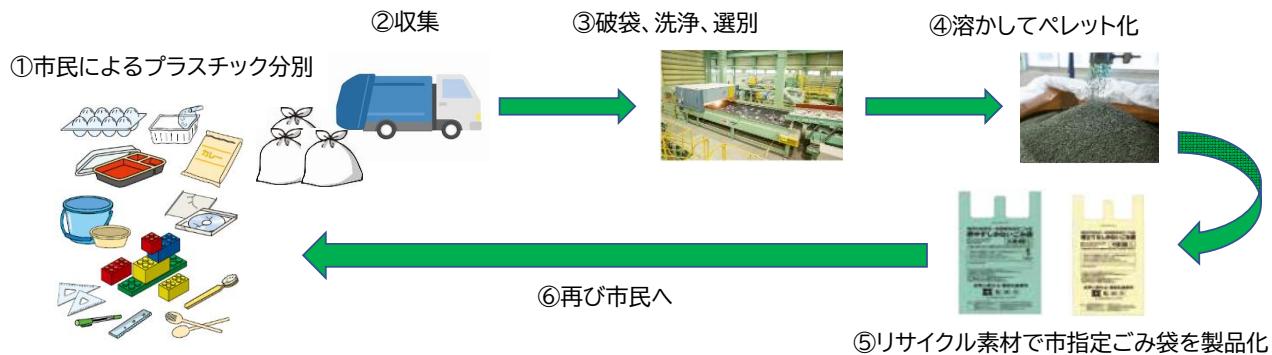
予算額 37,129千円
(前年度予算額 42,027千円)

《ごみ減量・資源化等推進事業経費》



プラスチックに係る資源循環の促進等に関する法律第33条に基づく再商品化計画の大蔵認定(経済産業大臣・環境大臣)を受け、再商品化事業者と連携してプラスチック製容器包装廃棄物とそれ以外のプラスチック使用製品廃棄物の再商品化工程の一体化・合理化に取り組み、資源循環を促進する。

プラスチック類の再商品化計画の流れ



資源循環推進課 Tel 0771-55-5305

充 実

「第43回全国都市緑化フェアin京都丹波」 亀岡2拠点にぎわい創出事業

京都丹波
みどりの
里まつり

予算額 819,330千円

(前年度予算額 1,825,638千円)

《公園緑地整備事業費》

フェア拠点の「京都・亀岡保津川公園」と「亀岡運動公園」において、期間中の土日祝日を中心に、花と緑、そしてアートや里山に囲まれた空間で多様な事業を展開し、来場者の満足度向上と地域経済の活性化、交流人口の拡大を図る。

- アートと公園が織りなす、多世代交流と持続可能なまちづくりプロジェクト
- 竹造四阿整備(京都・亀岡保津川公園)
- リバーサイドパークステージ整備(京都・亀岡保津川公園)
- 亀岡駅南側モニュメント整備
- 壁面花壇整備(亀岡運動公園)
- 京都・亀岡保津川公園園路及び広場の整備
- 亀岡運動公園 体育館・競技場エリア再整備
- 亀岡拠点にぎわい実行委員会負担金
 - － 両拠点にぎわい創出プロジェクト
 - － 「青空レストラン」プロジェクト など



京都・亀岡保津川公園 イメージ図



亀岡運動公園 イメージ図

全国都市緑化フェア整備課 Tel 0771-55-6789

充実



緑豊かな潤いのあるまちづくり事業 ～第43回全国都市緑化フェアin京都丹波～

予算額 324,459千円

(前年度予算額 100,498千円)

《緑花推進経費》

2026(令和8)年9月18日から11月8日にかけて開催する第43回全国都市緑化フェアin京都丹波に向け、フェア実行委員会へ負担金を支出し、広報・広告業務や自治体出展花壇等の準備及び開催期間中の管理運営等を行う。

- 期間:令和8年9月18日(金)から令和8年11月8日(日)まで
- 会場:京都丹波地域全体
- フェア拠点:京都・亀岡保津川公園および周辺

亀岡運動公園および周辺
園部公園および周辺
わち山野草の森および周辺
京都府立丹波自然運動公園および周辺



全国都市緑化フェア推進課 TEL0771-21-8301

新規



全日本花いっぱい亀岡大会開催事業

予算額 5,000千円

《緑花推進経費》

市内で緑花活動に取り組む団体や個人を表彰するとともに、全国の活動団体の方々との交流機会を創出することで、本市の緑花活動の高揚を促す。

また、本大会を第43回全国都市緑化フェアin京都丹波～京都丹波みどりの里まつり～の期間中に開催することで、全国から花や緑に関心の高い人々を呼び込み集客力を高める。

- 日 程 : 令和8年10月24日(土)
- 場 所 : ガレリアかめおか
- 開催内容 : 記念植樹、式典、交流レセプション
- 主 催 : 全日本花いっぱい連盟

第62回全日本花いっぱい亀岡大会実行委員会



都市整備課 TEL0771-25-5071

継 続

楽しく親しみのある公園整備事業

予算額 46,400千円

(前年度予算額 62,942千円)

«公園緑地整備事業費／公園緑地整備事業費(単独)»



老朽化が進む亀岡運動公園プール施設の設備更新等を進め、安全安心で市民に親しまれるプール環境整備を図る。

また、開発行為により設置された公園について、自治会等の行う遊具の修繕等に要する経費に対し補助金を交付し、住民の公園利用促進と危険防止を図り、安全安心なまちづくりに努める。

- 亀岡運動公園
 - プール循環配管更新
 - プール給水管更新
 - 襲雷警報器更新
- 亀岡市開発公園整備事業補助金



都市整備課 Tel0771-25-5071

継 続



「亀岡まるごとガーデン・ミュージアム」 プロジェクト

予算額 9,331千円

(前年度予算額 10,975千円)

«緑花推進経費»



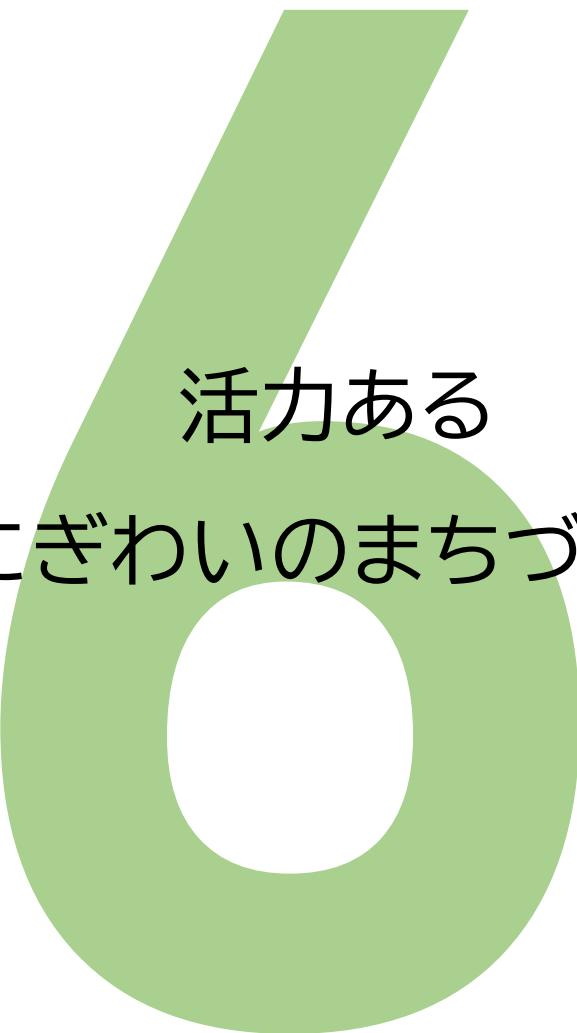
亀岡の豊かな自然や生物多様性、地域に残る文化・歴史などの魅力ある地域資源を埋もれさせることなく、亀岡の名所づくりや原風景などの景観保全を進めるとともに、快適で潤いのある生活環境や美しい景観を創出し、住む人が誇れるまちづくりを促進する。

また、「全国都市緑化フェアin京都丹波」開催に向け、市内各地の緑地等を華やかに彩り、来場者をおもてなしする各種施策を実施する。

- わがまちの花づくり推進事業
- ウエルカムガーデン維持管理【充実】
- 花と緑のまちづくり事業
- かめおか桜守事業
- スポットガーデンいろいろ事業
- オープンガーデンかめおか事業
- 京都丹波名木めぐり事業【新規】



都市整備課 Tel0771-25-5071



活力ある
にぎわいのまちづくり

充 実

地域商社「ONE かめおか」支援事業

予算額 50,000千円
(前年度予算額 4,800千円)

《地域商社事業経費》

令和8年度から地域商社「ONE かめおか」を本格始動させ、有機・自然・環境(ONE)を軸に地域資源の収益化に取り組み始める。民間の経営感覚を取り入れ、オーガニック产品等の高付加価値化や、都市部や海外への販路開拓を推進するほか、ふるさと納税の増加を目指す。

設立した地域商社を支援し、自走可能な企業へと育てることで、地域経済の持続可能な好循環につなげる。

- 地域产品流通促進事業の補助



企画調整課 TEL0771-25-5006

新 規

湯の花温泉 新源泉開発事業

予算額 4,000千円

《鉱泉管理経費》



令和7年に訪日外国人観光客が初めて4千万人を突破し、本市においても三大観光(保津川下り・トロッコ列車・湯の花温泉)をはじめとして、多くの外国人観光客が訪れている。

今後、新たな旅館の誘致をはじめとする湯の花温泉振興を図るうえで、十分な温泉水の確保は、温泉地としての魅力向上において必要不可欠な要素であるため、新たな源泉の開発に長期的に取り組む。

【事業概要】

新源泉掘削候補地の確保及び関連経費等

(次年度以降)

新源泉の掘削・汲み上げ設備の整備
温泉供給設備の整備等



商工観光課 TEL0771-25-5034

充 実

有機農業推進事業

予算額 43,823千円
(前年度予算額 47,024千円)

《有機農業推進事業経費》



オーガニックビレッジ宣言に基づき、有機農業の推進を幅広い角度から実施し、積極的な展開を図るとともに、全国都市緑化フェアin京都丹波との連携により、PRに努める。

- オーガニックビレッジ全国集会開催(10/30)【新規】
- 関係人口獲得実証イベント開催(田んぼサッカー)【新規】
- 給食への有機野菜導入支援(小学校・保育所等)
- 亀岡オーガニック農業スクール運営支援
- 給食への有機米導入促進
- 有機農業団地形成モデル事業実施



農林振興課 TEL0771-25-5036

充 実

食農の魅力発信事業

予算額 7,296千円
(前年度予算額 5,315千円)

《食農ブランド事業経費》



地産地消、都市農村交流を核として、本市の食との農の魅力を全国都市緑化フェアin京都丹波の開催を契機として、PRする。

- アグリフェスタ開催(10/31、11/1)【充実】
- アグリファーマンションショー開催【新規】
- ガストロノミーツアー実施(2回) 【新規】
- 「食」にひと手間講座開催(3回)
- 保育所・小学校等での食農学習実施
- 給食への地産地消食材導入支援

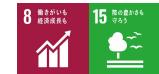


農林振興課 TEL0771-25-5036

継 続

地域担い手応援事業

予算額 10,000千円
(前年度予算額 10,000千円)



《地域営農担い手条件整備事業経費》

地域における担い手の確保・育成を推進するため、中
小の個人農業者の経営維持及び発展に必要な機械・設
備の導入を幅広く支援する。

■対象者

市内に主たる経営基盤を有する個人農業者等(認定農業
者、認定新規就農者、有機JAS認証を取得している者又は
取得見込みの者)で、地域の担い手として、営農を行う者。

■補助率

対象経費の1/2以内(補助上限額1,500千円)

■対象予定機械

農業用機械又は農業用パイプハウス等

※ 農地を活用し、農産物の生産・販売を目的に使用する
もので、取得価額が50万円以上のもの。



農林振興課 TEL0771-25-5036

継 続

亀岡牛ブランド振興事業

予算額 24,930千円
(前年度予算額 20,782千円)



《畜産振興関係経費》

亀岡の豊かな自然環境の中で丁寧に育てられた「亀岡牛」は、令和7年11月に開催された第72回近畿
東海北陸連合肉牛共進会で優良賞を受賞したほか、これまで複数回最優秀賞(農林水産大臣賞)を受賞す
るなど、肉質の高さが広く評価されている。

この亀岡牛の生産量・消費量の増加に繋げるため、亀岡市食肉センターの設備改修により国際的な衛生
管理基準「HACCP(ハサップ)」に基づく、と畜処理を推進するとともに、安定供給に向けた取り組みを支
援することで、安全・安心の「亀岡牛」のブランド振興を強化する。

- 亀岡牛ブランド啓発事業
- 亀岡市食肉センター改修事業
- 特定家畜伝染病予防接種事業
- 亀岡牛安定供給体制推進助成事業



農林振興課 TEL0771-25-5035

豊かな森づくり事業

予算額 31,080千円
(前年度予算額 30,802千円)



«林業担い手育成事業経費/森林活用推進事業経費»

林業事業就業者の人材育成を図るとともに、森林の整備、保全及び森林資源の循環利用を推進することで、手入れ不足の森林を解消し、林業の再生による豊かな森づくりに取り組む。また、木育誕生祝い品贈呈事業を進め、暮らしに木を取り入れることで地域材木製品の消費を増やす。

- 森林フォレスター(森林総合監理士)の育成【新規】
- 森林経営管理意向調査
- 森林経営管理権集積計画作成
- 里山再生整備事業
- 木育誕生祝い品贈呈事業 **子どもファースト宣言!!**



農林振興課 TEL0771-25-5094



快適な生活を
支えるまちづくり

安全・安心で快適な道づくり事業

予算額852,842千円

(前年度予算額1,302,163千円)



«道路新設改良事業費／街路事業費»

誰もが安全・快適に行き交うにぎわいとやさしさのまちづくりを支える道路網の計画的かつ効果的な整備を推進するとともに、地域課題への対応や歩行者の視点に立った道路整備を図る。

- 道路新設改良事業
- 幹線道路網・生活道路整備
 - 保津宇津根並河線、外14路線【継続】
 - クニッテル4号線【新規】
- 歩道整備及び交通安全対策
 - 湯ノ花温泉線、外3路線【継続】
- 辺地対策
 - 鎌倉線外2線【継続】
- 街路事業
- 馬堀停車場篠線(第2工区)【継続】



都市整備課 Tel0771-25-5076

桂川・道路交通課 Tel0771-25-5074

土木管理課 Tel0771-25-5044

新 規

夜間の交通空白解消支援事業

予算額1,800千円



«バス交通関連経費»

運転手不足により、夜間のタクシー稼働台数が不足している。このタクシー不足を解消するため、運転手確保に向けた取組を支援し、需要と運行のバランスがとれた交通体系を構築し、市民等の移動ニーズに対応し、利便性の向上を図る。

- タクシー運転手確保に係る取組に対する補助



桂川・道路交通課 Tel0771-25-5070

充実

バスの魅力再発見！ ノーマイカーDay事業他

予算額176,626千円
(前年度予算額 159,525千円)

《バス交通関連経費》



市内バス事業者と連携・役割分担をしながら、市民の生活バス路線を維持確保するとともに、地域と“ともに支える”持続可能な公共交通を実現するため、「亀岡市地域公共交通計画」に基づき、バス交通の維持や利便性の向上等を図る。

- 市民ノーマイカーDay事業
(京都サンガF.C.土休日ホームゲーム全試合実施)
- コミュニティバス運行(亀岡地区・篠地区)
- ふるさとバス運行
- 地域主体型交通に対する運行補助【充実】
(交通空白地等地域生活交通事業補助)
- 地方バス路線運行維持費補助



桂川・道路交通課 Tel0771-25-5070

継続

自然災害からみんなを守る 河川災害等防止対策事業

予算額 475,000千円
(前年度予算額 503,855千円)

《河川維持経費／河川改良事業費》



災害の発生予防・拡大防止を目的として創設された緊急自然災害防止対策事業債等を活用し、突発的豪雨による被害を防止するため河川の浚渫や改修工事を行い、快適な生活を支える河川づくりを行う。

- 河川維持経費
- 河川改修工事(土砂浚渫等)
 - 普通河川北川、普通河川北谷川、普通河川宮の谷川
- 河川改良事業費
- 河川改修工事(コンクリートブロック積等)
 - 準用河川牧田川



土木管理課 Tel0771-25-5044

充 実

「犬と暮らしやすいまち亀岡」を推進する事業

《動物管理指導経費》



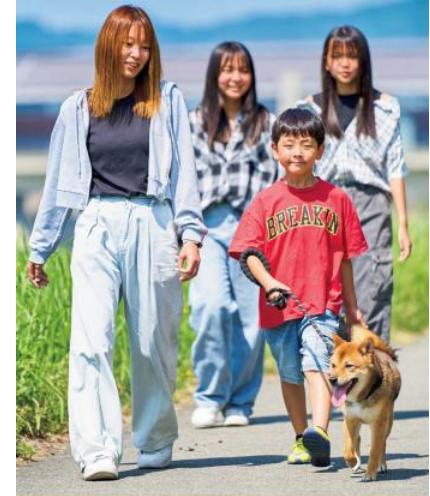
犬の登録や狂犬病予防集合注射、啓発活動などを通じ、人・動物ともに安全・安心に生活できる環境の実現を目指す。

全国都市緑化フェアin京都丹波の開催を契機として、「犬と暮らしやすいまち亀岡」を推進するイベントの開催や冊子を作成するとともに、犬の適切な飼養管理を進める事業を展開し、犬を飼っている人だけでなく、飼っていない人にとってもストレスや負担のない環境づくりを進めていく。

- 狂犬病予防集合注射の実施
- 犬の登録及び狂犬病予防注射接種登録
- 猫の避妊・去勢手術補助金
- 「犬と亀」の発行
- 「亀岡わんわんDay」の実施【新規】



開催時期:10月下旬



環境政策課 Tel0771-25-5023

新 規

すすきの景観保全と獣害対策 ～未来につなぐ野焼き試験～

予算額 680千円

《桂川高水敷土地利用経費》



保津川かわまちづくり推進事業では、保津川かわまちづくり推進協議会での議論を踏まえ、河川改修で創出された広大な河川敷の利活用を段階的に推進することを計画している。

現在、すすき自生エリアは景観価値がある一方、獣害の温床となる課題があり、その対策として野焼きを試験的に実施する。これにより、将来的には既存計画を見直し、にぎわい創出や「稼ぐ力」を持つ持続可能な水辺空間の形成を目指す。

- 実施時期 2~3月予定
- 実施場所 保津川右岸高水敷(すすき自生エリア)



桂川・道路交通課 Tel0771-25-5070

充 実

安全なわが家の耐震化促進事業

予算額 17,241千円

(前年度予算額 16,180千円)

«安全なわが家の耐震化促進事業費»



地震に強い安全・安心のまちづくりを推進するため、昭和56年5月31日以前に着工し、現に完成している、耐震診断の結果評点が1.0未満と診断された木造住宅の耐震化を促進する各種事業を実施する。

- 木造住宅耐震診断士派遣制度【充実】
- 木造住宅耐震改修事業費補助金
 - 耐震改修
 - 簡易耐震改修
- 小学校での耐震出前授業(秋頃)
- 建築物耐震改修促進計画策定【新規】



建築住宅課 Tel0771-25-5048

充 実

亀岡市シティプロモーション事業

予算額 59,000千円

(前年度予算額 50,000千円)

«広報経費»



市のブランドイメージを確立し、長期的なブランディングを進めるため、次のように取り組む。

- ・各種事業にあったターゲット設定
- ・ターゲットに刺さるクリエイティブの制作
- ・発信媒体の最適化
(SNS、プレスリリース、各種デジタル広告等)
- ・発信内容を改善
- ・一連の知見を組織内に蓄積し、数年後には自走出来る体制を目指す

<発信する事業イメージ>

- ・亀岡市の产品
- ・第43回全国都市緑化フェアin京都丹波
- ・市の各種施策
- ・観光情報 など



広報プロモーション課 Tel0771-25-5003



効率的で持続可能な
行財政運営

新規

かめおか未来・エコロジックミュージアム プロジェクト推進事業

予算額 8,140千円

《企画推進経費》

環境・経済・社会の三位一体の発展を追求する「かめおか未来・エコロジックミュージアム構想」を掲げ、有機農業を核とした産業の自立、資源循環を伴う豊かなライフスタイルの確立、資源回収拠点を軸とした「互助・共助」のコミュニティの創出など、多様な市民が主役となる「持続可能な未来型地域社会」の実現のため、実行計画を策定する。

- かめおか未来・エコロジックミュージアムの実行計画の体系化



企画調整課 TEL0771-25-5006

継続

議会活動経費

予算額 23,364千円

(前年度予算額 23,865千円)

《議会活動経費》

二元代表制としての役割を果たすため、「亀岡市議会基本条例」に基づき、積極的に議会活動を進め、市民と共に歩む議会を目指している。また、議会の活性化を一層進めることにより、より市民にとって開かれた身近な議会を実現し、市政の問題解決に取り組み、市民福祉の増進に寄与する。



- 通年議会による本会議・各委員会での審議・審査の充実
- 議会だより、インターネット中継、わがまちトーク、議会モニター制度等による広報広聴機能及び調査研究活動の充実
- タブレット端末の活用によるペーパーレスの推進及び緊急時を含めたりモート会議の実施

議会事務局 TEL0771-25-5051

継 続

DX推進事業

《電算管理経費／情報化推進経費》

予算額 7,699千円
(前年度予算額 8,018千円)



亀岡市デジタルファースト宣言に基づき、市民サービス・行政運営・シティプロモーションの各分野に対して「デジタルファースト」で取り組み、自治体DXを推進する。

- 『かめおかくらしのナビ』『窓口予約サービス』などの提供
⇒引っ越しなどのライフイベントごとに、簡単な質問に答えていくだけで、自分に必要な手続きや持ち物がわかる手続き案内サービスや、窓口への来庁時間の予約サービスなどWEB上で可能な各種サービスを提供する。
- 『行政手続のデジタル化・オンライン化』の推進
⇒ぴったりサービス(マイナポータル)と汎用型電子申請サービスで、スマートフォンなどから申請可能な手続きを拡充する。
- スマートフォン体験教室の開催
- 専門家からの支援を受け、業務改善等に取り組む。

亀岡市デジタルファースト宣言
～人と時代に選ばれるリーディングシティ 亀岡～

亀岡市は、デジタル社会にふさわしい市民サービスをデザインし、人と時代に選ばれるリーディングシティとなるために、市民サービス・行政運営・シティプロモーションの各分野に対して最新のデジタル技術を最大限活用し、「デジタルファースト」で取り組むことを宣言します。

令和3年10月8日 亀岡市長 桂川 孝裕

◆3つの戦略分野

1. 「市民サービス」のデジタルファースト
⇒行政手続きのデジタル化・オンライン化を進め、市民サービスの利便性向上を図ります。

2. 「行政運営」のデジタルファースト
⇒A I・I C T等の先端技術を活用し、B P R及び事務の効率化を進め、市民に寄り添った行政運営を行います。

3. 「シティプロモーション」のデジタルファースト
⇒デジタル技術を活用した市政情報の発信、プロモーションを戦略的に展開し、関係人口の拡大を目指します。

情報政策課 TEL0771-55-9454

充 実

証明書コンビニ交付システム機能導入・拡充事業

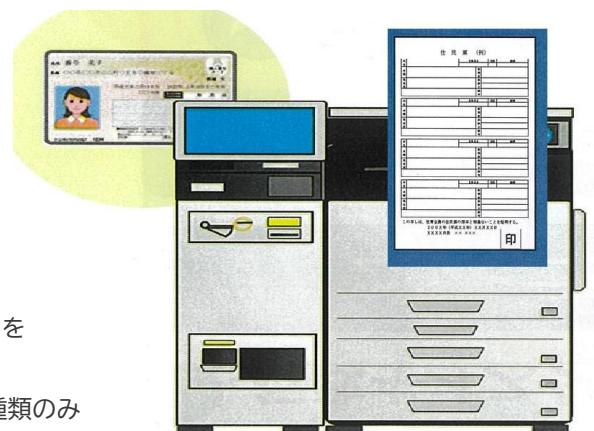
予算額 11,619千円
(前年度予算額 2,489千円)

《戸籍住民基本台帳経費/市税賦課事務経費》



これまでの証明書コンビニ交付サービス対象証明書に、新たに戸籍証明、税証明を追加する。必要な証明書を来庁することなく身近なコンビニで手軽に取得できる環境整備を通じて市民の利便性向上を図る。

- 証明書コンビニ交付サービスで取得できる証明書として、新たに戸籍証明(戸籍謄抄本・戸籍附票)、税証明(所得・課税証明書)を追加するためのシステム改修
※現在は住民票の写し、住民票記載事項証明書、印鑑登録証明の3種類のみ
- 拡充した機能の安定稼働を図るためのシステム保守



市民課 TEL0771-25-5019
税務課 TEL0771-25-5012

継 続

マイナンバーカード交付等推進事業

予算額 42,167千円
(前年度予算額 35,125千円)

«戸籍住民基本台帳経費»



個人番号カード(マイナンバーカード)の普及率向上と継続利用のため、
マイナンバーカードの申請・交付の推進及び更新手続きを円滑に進めるための
体制を整備する。

- マイナンバーカードの申請を推進する業務
 - ・出張申請窓口(高齢・障がい者入所施設等)の実施
 - ・休日申請窓口(市役所)の実施
 - ・申請窓口(市内の郵便局9局)の充実
- マイナンバーカードの交付を推進する業務
 - ・休日交付窓口の実施
- マイナンバーカード更新手続きの円滑化を図る業務
 - ・マイナンバーカード専用窓口の充実



市民課 TEL0771-25-5019

継 続

ふるさと納税推進事業

予算額 5,248,881千円
(前年度予算額 5,241,695千円)

«ふるさと力向上経費»



ふるさと納税制度を活用して本市の魅力をPRすることで、寄附金の増額を図り、本市財源を確保するとともに、返礼品として地元産品・サービス等を活用し、本市の産業振興・地域経済の活性化につなげる。

- 寄附目標額:35億円
- ふるさと納税による寄附の受付及びワンストップ特例申請受付業務
- ポータルサイトを活用した情報発信及び寄附者の利便性向上
- 市内事業者等と連携した本市の地域資源を活用した魅力ある返礼品開発
- 京都・亀岡ふるさと力向上基金への寄附金の積立



ふるさと納税課 TEL0771-25-5060

新規

公営住宅不良債権回収事業

予算額 3,000千円

«住宅管理経費»



住宅に困っている人の生活の安定と向上を図るための市営住宅において、家賃の長期滞納者が年々増加していることから、入居者に対する家賃負担の公平性を保つため、専門家による債権回収を行う。

- 滞納家賃回収業務弁護士委託



建築住宅課 Tel0771-25-5048

特別会計

継 続

国民健康保険事業(特別会計)

予算額 8,857,000千円
(前年度予算額 9,420,000千円)

亀岡市国民健康保険に加入する人が病気やけがをしたときに安心して医療が受けられるように、
医療保険の事業運営を行う。



京都府国民健康保険運営方針に基づき算定された、事業納付金や
標準保険料率をもとに、保険料を賦課徴収し、納付金を納付するな
どの事業運営を行う。

- 国民健康保険への加入、脱退手続き
- 国民健康保険料の賦課決定及び徴収
- 医療費の給付
- 療養費、高額療養費、葬祭費等の申請受付、支給事務
- 被保険者の健康の保持増進のための保健事業 など



保険医療課 Tel0771-25-5025

継 続

休日診療事業(特別会計)

予算額 29,600千円
(前年度予算額 26,900千円)



市民の安全・安心を確保することを目的に、ほとんどの開業医が休診する日曜日、祝日、振替休日、年末年始に、
緊急に医療を必要とする市民に対応するため、休日診療所を開設し、内科及び小児科の応急的な診療を行う。

年間診療日数：令和8年度 72日

診療科目：内科、小児科

出務体制：医師、薬剤師、看護師、医療事務員、事務職員

診療体制：1診療体制を基本にゴールデンウィーク、

年末年始は2診療体制で診察

インフルエンザ等の流行期に、患者の急増が
予測される場合は、2診療体制で診察を実施



亀岡市保健センター内 1階

健康増進課 Tel0771-23-5636

継 続

介護保険事業(特別会計)

予算額 7,766,000千円

(前年度予算額 7,523,000千円)



急速な高齢社会の進展に伴い、誰もが直面する「介護」を社会全体で支える仕組みである介護保険事業の円滑な実施に努める。また、高齢者が住みなれた自宅や地域で安心して暮らしていけるように、一人ひとりの状況に応じた介護予防事業を推進するとともに、地域における高齢期の包括的・継続的なマネジメントを推進する。

■ 介護給付事業

- ・ 介護サービス給付事業
- ・ 介護予防サービス給付事業

■ 任意事業

- ・ 介護給付等費用適正化事業
- ・ 家族介護支援事業(激励金・慰労金)
- ・ 地域自立生活支援事業

■ 介護予防・日常生活支援総合事業

- ・ 介護予防・生活支援サービス事業
(多様な実施主体による高齢者支援モデル事業)【新規】
- ・ 一般介護予防事業

■ 重層的支援事業(一般会計繰出金)

- ・ 地域包括支援センター運営事業
- ・ 生活支援体制整備事業

■ 保健福祉事業

■ 保険者機能強化推進事業(一般会計繰出金)

- ・ いきいき健幸ポイント制度



【一般介護予防事業(キラリ☆ココカラ介護予防塾)】

高齢福祉課 TEL0771-25-5032

継 続

後期高齢者医療事業(特別会計)

予算額 1,885,300千円

(前年度予算額 1,671,300千円)



後期高齢者医療制度は75歳以上(一定の障がいがあると認定された65歳以上75歳未満の人を含む)の高齢者が加入する医療保険で、将来にわたり安心して必要な医療が受けられるよう安定的な運営を行う。

京都府内の全ての市町村が加入する「京都府後期高齢者医療広域連合」が医療の給付などの制度の運営を行い、市町村は各種申請の受付や保険料の徴収を行う。

【市の事務】

- ・ 被保険者へ資格確認書の引き渡し
- ・ 被保険者からの各種届出や申請の受付
- ・ 保険料の徴収
- ・ 健康診査などの保健事業



保険医療課 TEL0771-25-5026

継 続

おいしい水を安定的に供給する水道 (特別会計)

予算額 3,361,800千円
(前年度予算額 3,189,400千円)



市民生活と都市機能を支えるライフラインとして、安全・安心で良質な水道水の安定供給のため、水道施設の長寿命化や規模の適正化を図るとともに、計画的かつ効率的な施設の整備及び維持管理を推進する。

- 水道老朽管の耐震化率向上に向け、水道老朽管耐震化工事を実施(5箇所)
- 老朽化した電気機械設備の更新工事を実施
- 水道用水供給事業の安定的な運営

水道老朽管耐震化工事



上下水道部各課 TEL0771-23-9388

継 続

水質保全と快適なくらしを築く下水道 (特別会計)

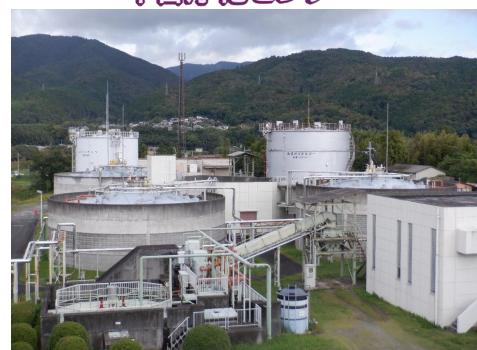
予算額 5,761,700千円
(前年度予算額 5,405,900千円)



下水道の整備により、公共用水域の水質保全と生活環境の改善を図り、快適で住みよいまちを守り続けるため、下水道施設の適正な維持管理及び改築更新等を推進する。

- 下水道施設の統合や雨水排水幹線の整備、年谷浄化センターの改築更新工事を促進
 - ・ 公共下水道統合事業
(公共下水道と小規模下水道(西部3地区)との接続)
 - ・ 犬飼川左岸雨水幹線整備事業
 - ・ 年谷浄化センター改築更新工事
(消化タンク設備)

年谷浄化センター



上下水道部各課 TEL0771-23-9388

継 続

市立病院事業(特別会計)

予算額 4,118,000千円

(前年度予算額 4,059,883千円)



公共性と経済性を考慮し、効率的な病院経営を行うとともに、公立病院に求められる高度で良質な医療の提供と各医療機関との地域連携により、市民に信頼される市立病院を目指す。

主な目標

- 経営強化プランに基づき、特に資金不足の早期解消と、安定的かつ持続可能な病院経営に総合的に取り組む。
- 医療スタッフの確保を重点課題とし、診療体制の充実や救急車の受入等を積極推進し、公立病院としての役割を果たし、引き続き高度で良質な医療の提供を図る。
- 訪問看護ステーションの充実に注力し、ニーズが増加している在宅医療に対応する。
- 医師会との病診連携懇話会の開催、各医療機関との医療連携を進める。

新たな取り組み

- 【府内中北部初】市民の健康を支える新たな取り組みとして、無痛MRI乳がん検診を実施。「痛くない・見られない」検診により受診機会を拡大し、早期発見を目指す。

病床数	一般病床100床
診療科目	消化器内科・循環器内科・糖尿病内科・一般内科・神経内科・呼吸器内科・小児科・外科・整形外科・麻酔科・皮膚科・泌尿器科・眼科・リハビリテーション科・放射線科
年間患者数	入院 30,660人 外来 65,070人 を見込む
一日平均患者数	入院 84人 外来 270人 を見込む
建設改良費	整形外科用電動ドリル、 12誘導心電計、筋電図・ 誘発電位検査装置、 入院ベッド等更新

病院総務課 TEL0771-29-2621